



一昨年に造成工事が完了した「茂原にはる工業団地」につきましては、全区画完売となり、現在、立地を予定する企業の工場建設が進められております。そこで、進出企業と市内既存企業との取引拡大に向けた「企業交流会」を2回実施し、幅広い業種の方々にご参加いただきました。引き続き、進出企業の早期操業を支援し、雇用機会の創出、定住人口の増加、財政基盤の強化など、地域経済活性化につなげてまいります。

将来を担う子どもたちの教育環境につきましては、昨夏は全国的に記録的な暑さとなり、今夏以後もこのような猛暑の恐れがありますので、健康状態の保持および快適な学習環境を確保するため、市内小中学校・幼稚園に空調設備（エアコン）を国の補助を有効に活用しながら、早期に設置する予定です。また、安全性に問題があるブロック塀等の撤去・改修を本年3月までに完了いたします。さらに、老朽化が著しい既存の共同調理場に替わる、新しい学校給食センターの建設に取り組んでおり、本年9月から小中学校へ給食を提供する予定です。これにより、児童生徒に安全・安心で温かくおいしい給食を提供できることを確信しております。

そして、子どもたちの大きな希望や目標につながる「茂原市スポーツ大使」として、プロ野球選手の高梨裕稔選手に加え、新たにプロバスケットボール選手の

鶴澤潤選手、プロサッカー選手の辻周吾選手と古川大悟選手の3人を委嘱しました。市内での交流会やそれぞれの競技での活躍を通じて、市民の皆さまのスポーツへの関心を高め、一人でも多くの方が健康で明るく豊かな生活を送れるよう努めてまいります。

一方、シティブロモーションの取り組みにつきましては、茂原市議会、茂原商工会議所等、さまざまな団体にご協力いただき、官民一体となってドラマや映画の積極的な撮影を支援する「千葉もばらロケーションサービス」を昨年10月に設立しました。今後、映像作品の舞台となることで、地域の魅力の発信や経済の活性化を図る「ロケツーリズム」をこの組織を中心に推進し、まちの魅力、認知度、イメージを向上させるとともに、市民の皆さまの地域に対する誇りや愛着心の醸成を図りたいと考えております。

平成31年度は、「茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の最終年度です。今後も地元雇用の促進や子育て環境の充実などにより、「住み続けたい」さらには、「住んでみたい」と思われる活力あるまちづくりの全力を注ぎ、平成から新しい時代への幕開けをスピード感をもって取り組んでまいります。

結びに、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、私の年頭の挨拶といたします。

